

## 「教学 IR を担当する組織・部局の概要」

「日本赤十字豊田看護大学組織分掌規程」の第5条に IR 室の設置について、第10条の2に IR 室の分掌業務について規定している。この規程をもとに「日本赤十字豊田看護大学 IR 室規程」を定め、IR 室の具体的な役割及び組織について明記している。

IR 室の目的は、「教育、研究その他の大学の諸活動に関する情報を収集し、および分析し、並びに当該分析結果に基づく提案を行うことにより、日本赤十字豊田看護大学の経営戦略策定を支援すること」であり、以下の5つを所掌事項として定めている。

- (1) 経営戦略に関する情報の収集・分析・提言
- (2) 教育の質保証に関する情報の収集・分析・提言
- (3) 本学の研究の成果に関する情報の収集・分析・提言
- (4) 国内外の教育研究・大学運営にかかる情報の収集・分析・提言
- (5) その他学長が必要と認めたこと

組織体としては、IR 室は学長の委嘱により、室長及び6名の教職員により組織されており、総務課が事務局を担当している。

## 「教学 IR をきっかけとする教学改善の事例の紹介」

IR 室では、ディプロマポリシー（以下、DP）に示す能力評価、学修成果や学修時間、授業評価の調査結果を分析してきた。DP に示す能力の評価については、数年来評価結果を分析した結果、評価方法の適切性に課題があることが確認できた。現行のルーブリック指標は、項目ごとに達成基準が異なり、表現が難解であることが、学生による評価を困難にしている可能性が考えられた。IR 室の報告を受け、教学に関する内部質保証に責任を有する教育の質保証委員会において、DP に示す能力の評価方法について検討を重ねた結果、カリキュラムマップに示す各 DP に関連する科目の GPA を客観的指標とし、学生自身の能力習得度についての主観評価を下記に示すマトリックス法による5段階評価の調査方法を用いることとした。それにより、より適切な学修成果の評価を目指すこととした。

【学修成果調査に用いるマトリックス法による5段階評価】

1. 卒業時に期待される能力（ディプロマポリシー）の習得状況

	習得している	ほぼ習得している	どちらかという と習得している	どちらかという と習得できていない	習得できていない
尊厳と権利を擁護する力					
生命・生活を支える力					
人間を理解する力					
問題を解決する力					
看護を実践する力					
多職種と共同する力					
自ら学び続ける力					
グローバルに視る力					
災害時のニーズを理解する力					